

# SPODフォーラム2016全体アンケート集計結果

当日参加者数: 503名  
 SPOD加盟校から: 305名  
 SPOD加盟校以外から: 198名

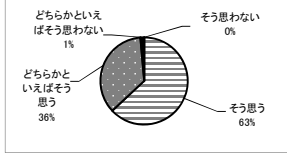
アンケート回答者数: 227名  
 回答率: 45.1%  
 回答期間: 9/16(金)~9/30(金) ※フォーラム終了3週間後よりWEB入力にて実施

## 1. SPODフォーラムでの研修成果について

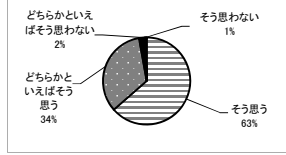
### 【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	143	63.0%
② どちらかといえばそう思う	81	35.7%
③ どちらかといえばそう思わない	3	1.3%
④ そう思わない	0	0.0%
計	227	100.0%
無回答	0	

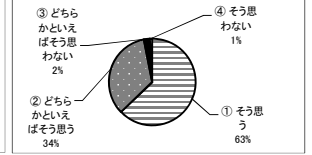
### SPODフォーラム2016(愛媛大学開催)



### SPODフォーラム2015(愛媛大学開催)

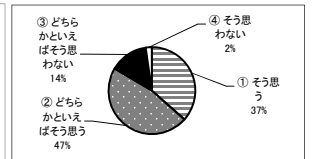
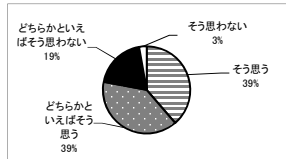
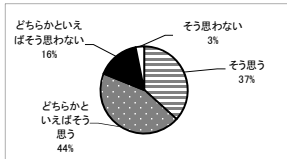


### SPODフォーラム2014(高知大学開催)



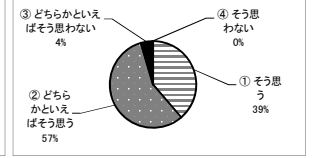
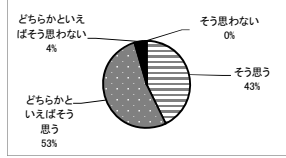
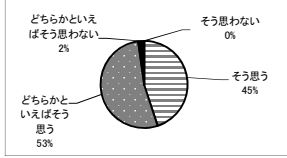
### 【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	83	36.6%
② どちらかといえばそう思う	101	44.5%
③ どちらかといえばそう思わない	36	15.9%
④ そう思わない	7	3.1%
計	227	100.0%
無回答	0	



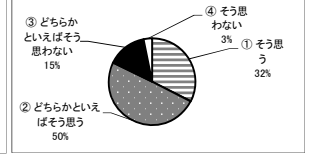
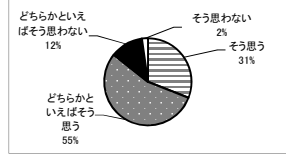
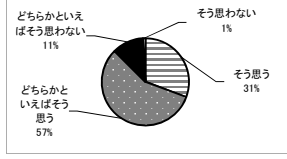
### 【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	102	44.9%
② どちらかといえばそう思う	120	52.9%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	0	0.0%
計	227	100.0%
無回答	0	



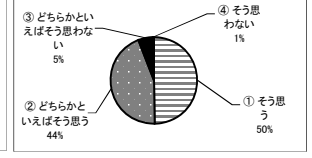
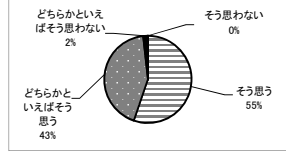
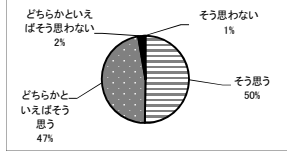
### 【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	69	30.7%
② どちらかといえばそう思う	128	56.9%
③ どちらかといえばそう思わない	26	11.6%
④ そう思わない	2	0.9%
計	225	100.0%
無回答	2	



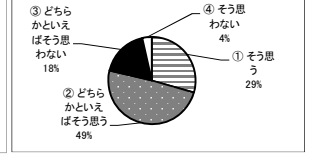
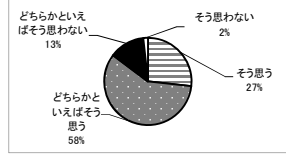
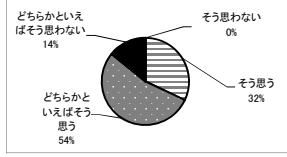
### 【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	112	50.2%
② どちらかといえばそう思う	105	47.1%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%
無回答	4	



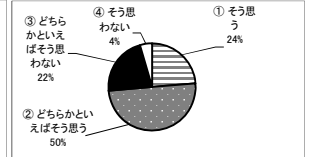
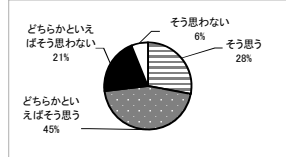
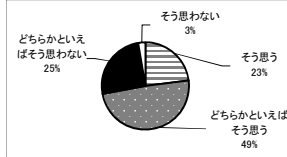
### 【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	72	32.0%
② どちらかといえばそう思う	121	53.8%
③ どちらかといえばそう思わない	32	14.2%
④ そう思わない	0	0.0%
計	225	100.0%
無回答	2	



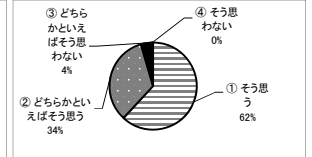
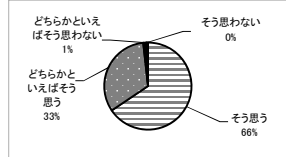
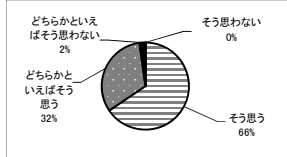
### 【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	52	23.0%
② どちらかといえばそう思う	111	49.1%
③ どちらかといえばそう思わない	57	25.2%
④ そう思わない	6	2.7%
計	226	100.0%
無回答	1	



### 【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	148	65.5%
② どちらかといえばそう思う	73	32.3%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	0	0.0%
計	226	100.0%
無回答	1	

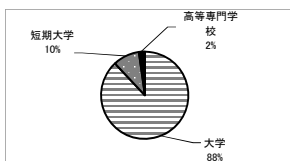


2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

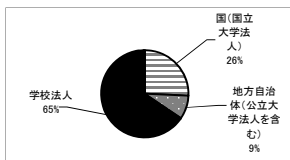
	度数	割合
① 大学	199	88.1%
② 短期大学	22	9.7%
③ 高等専門学校	4	1.8%
④ その他	1	0.4%
計	226	100.0%



無回答 1

所属先の設置者

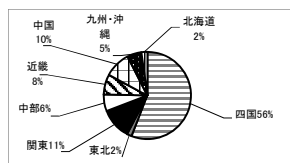
	度数	割合
① 国(国立大学法人)	58	25.7%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	20	8.8%
③ 学校法人	147	65.0%
④ その他	1	0.4%
計	226	100.0%



無回答 1

所属先の所在地

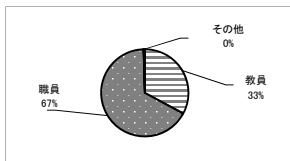
	度数	割合
① 四国	127	55.9%
② 東北	4	1.8%
③ 関東	26	11.5%
④ 中部	14	6.2%
⑤ 近畿	17	7.5%
⑥ 中国	22	9.7%
⑦ 九州・沖縄	12	5.3%
⑧ 北海道	5	2.2%
計	227	100.0%



無回答 0

職種

	度数	割合
① 教員	74	32.9%
② 職員	150	66.7%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	1	0.4%
計	225	100.0%

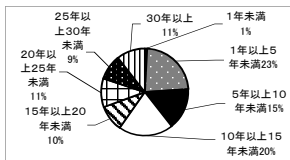


無回答 2

その他の記述内容(看護師)

大学教職員等の経験年数

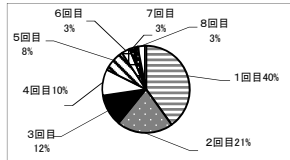
	度数	割合
① 1年未満	2	0.9%
② 1年以上5年未満	52	23.0%
③ 5年以上10年未満	35	15.5%
④ 10年以上15年未満	46	20.4%
⑤ 15年以上20年未満	22	9.7%
⑥ 20年以上25年未満	24	10.6%
⑦ 25年以上30年未満	21	9.3%
⑧ 30年以上	24	10.7%
計	226	100.0%



無回答 1

SPODフォーラムへの参加回数

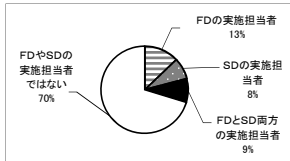
	度数	割合
① 1回目	91	40.1%
② 2回目	47	20.7%
③ 3回目	27	11.9%
④ 4回目	22	9.7%
⑤ 5回目	19	8.4%
⑥ 6回目	7	3.1%
⑦ 7回目	7	3.1%
⑧ 8回目	7	3.1%
計	227	100.0%



無回答 0

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	29	12.9%
② SDの実施担当者	18	8.0%
③ FDとSD両方の実施担当者	20	8.9%
④ FDやSDの実施担当者ではない	158	70.2%
計	225	100.0%



無回答 2

## SPODフォーラム2016 参加者からの要望等について

### ■開催時期について

- ・開催日程が毎年大学院入試と重なるので参加しづらいです。9月の開催は難しいでしょうか。
- ・毎年学生の実習や他の学会の大会と重なって、参加できていませんでした。今回も半日だけの参加で、残念でした。もう1週間早いと、参加しやすいのですが。
- ・開催日は土日を挟んでいただけると職務上参加しやすいのではないのでしょうか。
- ・近隣のホテルを予約する際に、その地域で他の行事と重なっていたためか、予約しにくい状況であったので他の行事となるだけ重なっていないように実施してほしい。
- ・開催時期は学生の夏休み期間であり、こちらも時間をとることができたのでよかった。

#### 対応

- ・過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏期休業中の平日に開催している。なお、来年度は徳島大学で8月下旬に開催する予定である。

### ■開催地について

- ・距離的に少し遠かったので来年の徳島大学での開催も全国で行ってほしいと思いました。
- ・公共交通機関で日帰り往復することを考えると、1限目の研修が10時開始のため、残念なことに参加したい研修が受けられませんでした。過去には高知や徳島で開催されたこともあったと思います。それも含めてご検討いただければと思います。

#### 対応

- ・SPODフォーラムは、今後も四国4県で持ち回り開催を予定しており、全国で行う予定はない。なお、来年度は徳島大学で8月下旬に開催する予定である。

### ■当日のスケジュールについて

- ・お昼の休憩時間が少し短い気がしました。研修の合間にもう少しゆっくりできたら良いと思いました。
- ・昼休憩はもう30分くらい長くしてもよいと思う。SPODのプログラムは、講師も熱意があるため予定時間を少し過ぎてしまうこともあるし、講師にもっと話をききたいと思う受講生もいるように思う。そうすると、昼休憩が1時間だけでは、昼前と昼後のプログラムを両方受講する人にとってはゆっくり昼食がとれない。食べたとしても、慌てて次のプログラムへ走らないといけなくなる。(実際に自分もそうでした)せっかくランチマップを作成していろいろと紹介しているし、学内のレストラン等も利用してもらえらる機会なのに、もったいない気がするの、少し調整していただけるとありがたいです。

#### 対応

- ・当日のスケジュールについては過去の実績に基づき設定しているが、昼休みの時間等についても調整できる部分がないか今後検討する。また、近年四国以外からの参加者も増加していることから、1コマ目の開始時刻等についても可能な範囲で調整できる部分がないか検討する。
- ・講師には講義時間を超過しないよう事前をお願いしているが、更なる工夫を検討する。

### ■プログラムの申込について

- ・人気がある講演は、定員がいっぱいで受講できなかったのが残念だった。定員を増やすか、先着順でなく、抽選で選んだりしてほしい。
- ・人気のある講座がすぐに埋まってしまうので、2回開講などをしてほしい。

- ・新プログラムを開発・発掘するのはなかなか難しいとは思いますが、特に今年は新しいものは四国組で一杯で、毎年行っている身としては選択の余地が少ないというのが実感でした。
- ・プログラム受付人員について、SPOD 未加盟校枠を設けていただけたらと思います。希望したプログラムが受け付け開始時点で既に定員に達しており、他のプログラムを選択せざるを得ませんでした。

対応

- ・今年度は人気のプログラムを2回開講したり、講義形式のプログラムを例年より多めに設け定員を増やしたりする等の対応をした。また、昨年度は会場が狭かった旨の意見が多かったため、今年は昨年よりも広い教室を多めに使用して対応した。
- ・SPOD加盟校の教職員に関しては、先行受付期間に申し込めばほぼ希望どおりプログラムを受講できるようになっている。ただ、近年SPOD加盟校外からの参加者も増えていることから、加盟校外の参加者も希望するプログラムを可能な限り受講できる方法がないか今後検討する。
- ・今年度から申込みフォームの自動締切機能を新たに設けたことで、定員に到達次第自動的に申込みを締め切ることができ、参加者が定員に到達したかどうかをリアルタイムで確認できるようになった。

■プログラムについて

- ・時間に物足りなさを感じた。もう少し時間が有ればとすべての講義で感じた。グループワークに関し全般的に2コマで考えて欲しい。
- ・半日通してグループワークをする講義は、班替えがあればよりたくさんのことを得られるように感じました。(時間が長いので、前半後半に分けて班替えをしても十分実施できるように感じました。)
- ・単発ではなく、シリーズで段階的に深く学べるようなプログラムがあるとありがたい。
- ・毎年のように参加していると、徐々に新規性がなくなっていくのも事実なので、新しいテーマや講師の比率をもう少し増やしても良いのではないかと思う。
- ・講師によってかなり教える技量に差があると感じた。1コマ出て殆ど理解しないまま終わったセッションもあれば沢山のことを学べるセッションもあった。その分野のプロを招聘するのも大事だが、ファシリテーション技術を兼ね備えている人物であるとより持ち帰れる知識は増えると感じた。
- ・開講してほしいプログラムについては別紙のとおり。

対応

- ・昨年度もグループワークのあるプログラムは時間が足りないとの意見が多かったため、今年度は2コマ連続受講プログラムを例年より増やしたり、3時間プログラムを設けたりする等して対応した。
- ・グループワークを伴うプログラム全てを2コマ連続受講プログラムにしてしまうと、全体定員数が減少するため、全体のバランスを考慮して構成を検討する必要がある。
- ・講師には引き続き時間配分等に気を付けてもらうようにする。

■会場の教室等について

- ・会場内のことですが、少し空調が効きすぎているところもありました。
- ・AL的な運用をされるセッションはAL室でやってみたいですね。
- ・グループワークをとまなうものは、可動式の椅子・机のある教室で実施してほしい。

- ・南加記念ホールはやや手狭だと思われます。
- ・シンポジウムは会場の広さの都合もあったと思いますが、参加者数が事前に把握できませんので、着席できない人のために、立ち見席や別会場でのライブ中継なども用意すると良いのではないかと思います。
- ・受付が入りづらい印象。部屋の中もいいが、開口部を広くとって入りやすく受付らしくして欲しい。コの字にかこまれてみんなが困っている印象だった。

#### 対応

- ・昨年度は各が狭かった旨の意見が多かったため、今年は昨年よりも広い教室を多めに使用して対応した。ただ、シンポジウムの会場については、満席で申込みを締め切った後も問い合わせや、当日受付で立ち見でも良いので参加したい等の声もあったことから、今後検討の必要がある。
- ・今年度はプログラムの内容が講義中心あるいはワーク中心のどちらかを分け、基本的に、講義中心プログラムは固定機の教室、ワーク中心のプログラムは可動式機の教室で実施して対応した。
- ・エアコンについては適宜調節するようスタッフのマニュアルに記載している。また、受講者への周知内容に、調整可能な服装を準備いただくような記載を検討する。

#### ■運営に関して

- ・配置図はあったんですが、会場内がどこに行ってもいいか分かりにくかったので、もう少し分かりやすくしてほしかったです。名札に記載するマジックが太くて書きにくかったです。
- ・個人的に公共交通機関では不便なため、車を使うことになるので、周辺駐車場の案内があれば助かると感じた。
- ・会場が県外大学なので、抽選方式、あるいは事前申し込みで各大学一日につき1台など、大学構内の駐車場を使わせていただければと思います。

#### 対応

- ・建物内や屋外に案内の掲示用紙やT字看板を設置しているが、より分かりやすい案内となるよう掲示する場所や書き方等を工夫する。
- ・学内駐車場スペースがないため参加者の皆様には公共交通機関をご利用いただくようお願いしているのですが、引き続き公共交通機関をご利用いただきたい。

《開講してほしいプログラムについて》

研修実施・運営に関する内容

- ・SD, FD の実施について
- ・今後 SPOD フォーラムみたいなもの（今回受けた個別の研修会）を自大学で実施するにはどうしていけばよいか、そのヒントを教えてくださいのようなプログラム。
- ・「研修会等が無事に開催されるコツ」をお伺いしたいです。
- ・人事や研修制度の組み立て、個人のモチベーションマネジメント等についてのプログラムがあれば是非受講してみたいです。
- ・FD・SD に関する基礎知識を改めて学びたい（なぜ今求められているのか、プログラム作成時の注意点、学内での調整）

担当者、専門家養成に関するプログラム

- ・FD 担当者養成講座
- ・管理職レベルを対象にした SDC のセミナーや、SDC のフォロー講座を開講してほしいです。
- ・SD コーディネーターの研修

大学院FD

- ・大学院FDに関すること
- ・学生主体の授業の進め方、学生FDのノウハウなど有れば研修を受けてみたいと思います。
- ・学生の研修プログラムの方法、スキル、テクニックに関すること（分野は何でも）

SD

- ・SDへの注目が集まっており、また参加職員の占める比率も高いこともあって、FDとも両方利用できる、学習科学の基礎、学習理論の基礎（学生がどう学ぶかに加え、自分たちもSDにおいて、どう学べばよいのかを知るため）があればよいのではないか。
- ・SDの観点から、大学職員の仕事のあり方について着目してほしい。特に国立大学の職員は前例主義、漫然と業務している印象があり、業務改善の意識を徹底するチャンスが少ないのではないか。
- ・平成29年度より「SDの義務化」が始まりますが、その改正の中にもあるように、「SD」イコール「職員」ではなく、「SD」イコール「教員・職員」として定義されているかと存じます。ですので、「SD」イコール「職員向けプログラム」、「FD」イコール「教員向けプログラム」という表現にならないよういただきたいです。つきましては、教員に受けていただけるようなSD関係のプログラムを求めます。

FD・SD共通

- ・学生支援とFDやSDを結びつけていくプログラム
- ・FDやSDの具体的な事例と成果から学ぶプログラム

評価

- ・ピアラーニング 協働学習における評価
- ・ルーブリックは入門編だけでなく、応用編・実践編も行って頂きたい。
- ・学生の社会性について。学生の地域参加と評価について
- ・人事評価に関する被評価者の良き在り方について
- ・人事評価とワークライフバランスの関係性を深めた事例を紹介する科目

授業関係

- ・学生がキャリア形成について、真剣に考えるようになる効果的なキャリア形成支援科目のあり方（シラバス作成とPBL等の授業方法を含む）
- ・初年次導入科目における授業内容、授業方法
- ・「反転教育」や「PBL」については方法論をしっかりと学べる講座を開講してほしい。
- ・英語による授業のクラス運営の方法、カリキュラム設計上の注意点等
- ・リメディアル系。どうすればリメディアル学習が長続きするか？どうすればリメディアル学習の効果が実感できるか？

## 学習支援

- ・アカデミックアドバイジングに関すること（基礎編）
- ・本学も取り組んでおりますが、学習支援の部署（ラーニング・コモンズ）における①レファレンス、②学習相談、③ライティングサポート等に関するセミナーを多く受講したいと思っております。
- ・卒業研究の指導について、今回伺いましたが、とても大事な科目ですので、もっと取り上げていただきたいです。
- ・教免や資格取得支援について
- ・学部生に対する研究倫理教育について（指導方法や内容等）

## 障がい学生支援

- ・障害学生支援について
- ・発達障害学生支援の基礎
- ・グループ活動ができない学生（学習障害などの理由で）の対処法

## IR関係

- ・データ解釈について、次も参加したい。
- ・IR業務に即した、レベルの高い研修プログラムがあるといいですね。
- ・EXCELを使った実習。データ分析は教職員のアンケートで役立つと思うし、単純な集計作業で終わるのではなく、何かしらの分析（回帰分析、検定等）を学ぶことが必要。
- ・IR関係のハンズオン型の講座。

## 理工系プログラム

- ・理工系の講義のやり方について、ICTを活用した方法など。
- ・理系科目のピアインストラクションについて。
- ・理工系プログラムがさらにあればよいと思う。
- ・理系向けの研修プログラムが相対的に少ないように思います。

## 質疑応答、情報交換を主としたプログラム

- ・今年のシンポで紹介された事例などは、ワークショップ形式にとられることなく、紹介として120分まるまる説明と質疑応答に使えるようなものにしてほしいではありませんか。一日のうちコマぐらい、紹介を聞いて質疑応答するだけのプログラムがあってもいいかと思えます。
- ・テーマを設定して、その専門家が壇上に並び、参加者からの質問に対して答弁してくれるQ&A主体の研修プログラムを希望する。
- ・講師の講義を受講するというよりは、もう少し、参加されている方々の具体的な取り組みについて、もっと情報交換をできるようなものがあったらいいのではないかと思います。

## TA

- ・TAに関すること（研修プログラムなど）
- ・既に設置されていたら恐縮ですが、TA活用法などがあると助かります。

## メンタルヘルス

- ・学習意欲が減退した学生への対処方法（メンタルな点を中心にして）
- ・教職員の精神疾患による休職後の復職プログラムについて。

## 留学

- ・留学（派遣）プログラムの危機管理マニュアルの策定方法等について。
- ・留学生に関する案件について

## 会計系

- ・学校会計のイロハがわかるプログラムを希望します。
- ・外部資金の会計処理に関する科目も欲しい。

## プレゼンテーションスキル

- ・話し方、物事の伝え方のスキルアップ
- ・SPODで学ぶ教育論・教育方法が授業の効果を高めるうえで、重要なことは理解できるが、こうした内容を十分に生かすには、教育者、プレゼンターとしての素養や能力を磨くプロ

グラムが必要であると感じた。

#### 組織運営

- ・民間感覚での大学運営
- ・大学改革について（企画・実行・協働の方法）
- ・カリキュラムの編成について
- ・ワークライフバランスをテーマにしたもの（イクボスの進め方）
- ・労働生産性を高めることに着眼した科目を作るように努めてほしい（長時間労働をなくす観点から）。
- ・仕事の振り方、やり方の具体について
- ・同じ部局の温度産のある教員への働きかけまたは協働の方法

#### 危機管理

- ・クレームに対する上手な対応方法（保護者・学生などからの）

#### 階層別・規模別等プログラム

- ・学長や副学長の研修プログラムを開講されてもいいのではないのでしょうか。
- ・実践的な学習。経験的な学習。アクティブラーニングなどすでに多くありますがより深いじっくりした話し合いをする機会がほしいです。すでにこれまで実践している教員が参加するような会ですね。
- ・小規模校向けのSDプログラム。時代の流れ（文科省の方針等）に沿った教育を提供するために、人も資金もない小規模校ならではの方法で実現方法を考える。というような、学生も教職員も人数が少ないからこそその学校改革の取り組み方などを意見交換しながら考えられるプログラムがあれば参加したいです。
- ・私自身が初参加で、4月からの転職で職員としての経験がほとんど無い中での参加でしたので、新人向けの研修プログラムがあれば、積極的に参加できたかな、と思っています。経験者や教員向けのプログラムはとても充実していると思いましたので、ぜひ、新人向けのプログラムを希望いたします。

#### その他

- ・SCOT など学生授業コンサルティングに参加した学生と教職員が共に考える「学生目線」の授業と「学生目線」を引き上げる授業など、教育改善に関わる学生も対象にしたワークショップ
- ・産学連携プログラム事例など（教員の関わり方 職員の関わり方）
- ・グラフィックシラバスを引き続いて開講していただきたいです。
- ・ムードル活用の方法と事例。特に文系の場合。
- ・図書館関連
- ・文部科学省が進めている取り組み等の解釈や事例紹介
- ・仕事を効率的にこなす人になれる、処理能力が高まるような研修があれば参加してみたいと思います。
- ・公用文の文書作成等に関する研修プログラムがあったら参加してみたい。
- ・イラストレーターや、フリーのソフトを使ってもいいが、簡単なイラストや、絵の加工をしてみたい。たとえば、みんなが使う名刺を作る。大学のロゴを基本に自分の写真を入れ込んだりして作っていく。
- ・学生の顔と名前を覚える方法について。
- ・業務に直結しにくい基本的な内容をさらに大切にしてほしい。
- ・2コマ連続の講習もありますが、可能であれば2日間連続の講習もあると集中講義のようで充実するのではないかと思う。
- ・特定の開講してほしいというより、新しいプログラムをどんどん増やしてほしいと思います。